臺灣日日新報 夕刊
（第二號）（昭和十二年二月九日第三種郵便物認可）（昭和十二年十二月二十六日）
十二月二十五日
夕刊定價一部二錢
發行所 臺北市榮町二丁目一番地 臺灣日日新報社
臺北 電話（三）番
基隆支局 基隆市仁愛路 電話（一）番
新竹支局 新竹市中正路 電話（一）番
臺中支局 臺中市綠川町 電話（一）番
花蓮港支局 花蓮港市 電話（一）番
大阪支局 大阪市北區堂島ビルヂング 電話（北）五一〇番
東京支局 東京市
發行人 佐々木 修

優良國產 信用第一 臺灣製糖株式會社 ソース

通州事件解決

弔慰金百廿萬圓

公文を提出

陳謝公使へ

【北京二十四日發同盟】日本側代表高橋坦參事官と冀東政府との間に折衝を行つてゐた通州事件解決に關する協定は二十四日北京に於て調印された

【北京二十四日發同盟】日本在留民保護の爲に派遣された支那駐屯軍

方面事業に垂れさせ給ふ
皇室の深き思召

大正天皇の叡慮を體して創始

大正天皇御陵下における奉仕團に於ける方面委員の名称を以て実施せらるることとなつたのであるが、其の由來を述べるに、同地方長官會議の際同地方長官たる歴代の内務大臣山縣有朋、故原敬、故若槻禮次郎、故田中義一の四氏が此の光榮に浴した事は、本島島民の榮であり、最大の感激であつた

方面委員とは方面委員令に基き、市町村長の推薦に依り、地方長官が之を委嘱するもので、其の職務は民情の視察、生活の安定の方法を講ずるにあり、而して各種社會事業施設の聯絡統一に當り、方面委員の総数三千を越える現状にあり、又方面委員最設仲数の如きは昭和十年度には約六百万件に上つてゐるのを見ても、本制度が我国社會施設上如何に重要な役割を演じてゐるかを窺ふことが出來る

今や方面委員制度は、本邦社會事業に最も適切なる施設として各国施設機関所は八千一百三十六箇所町村に達し全国市町村の約八割が既に此の制度を施行してゐる、又方面委員の数は、外地を加へて四万二千を越える現状にあり、又方面委員最設仲数の如きは昭和十年度には約六百万件に上つてゐるのを見ても、本制度が我国社會施設上如何に重要な役割を演じてゐるかを窺ふことが出來る

我が皇室が常に臣民敷衍に特別の関心を垂れさせ給ひ、徳民社會事業施設に関する新興國運の御下賜金或は、水災等に於ける御下賜金或は、一再に止まらず、我国民の著しく発展増加に伴へる所である、現在本邦社會事業の中樞機関として最も偉大な地位を占めてゐる方面委員の如きも実に皇室の有難き思召に依り創始せられたことは申す迄もない事である

大正天皇が岡山縣下に於ける御巡啓に際し、其の由來を述べるに、同地方長官會議の際同地方長官たる歴代の内務大臣山縣有朋、故原敬、故若槻禮次郎、故田中義一の四氏が此の光榮に浴した事は、本島島民の榮であり、最大の感激であつた

方面委員とは方面委員令に基き、市町村長の推薦に依り、地方長官が之を委嘱するもので、其の職務は民情の視察、生活の安定の方法を講ずるにあり、而して各種社會事業施設の聯絡統一に當り、方面委員の総数三千を越える現状にあり、又方面委員最設仲数の如きは昭和十年度には約六百万件に上つてゐるのを見ても、本制度が我国社會施設上如何に重要な役割を演じてゐるかを窺ふことが出來る

今や方面委員制度は、本邦社會事業施設の聯絡統一に最も適切なる施設として各国施設機関所は八千一百三十六箇所町村に達し全国市町村の約八割が既に此の制度を施行してゐる、又方面委員の数は、外地を加へて四万二千を越える現状にあり、又方面委員最設仲数の如きは昭和十年度には約六百万件に上つてゐるのを見ても、本制度が我国社會施設上如何に重要な役割を演じてゐるかを窺ふことが出來る

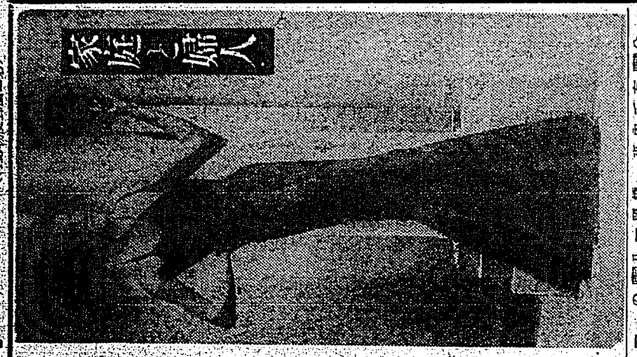
大口の中止が多く
臨時傭はお拂箱
帝都 年賀郵便大異變

【東京二十五日發】帝都年賀郵便の取扱ひは二十五日午前八時から開始されたが、例年に比べ大口の中止が多く、臨時傭の人夫は殆んどお拂箱となつた、即ち昨年は二十五日午前八時から翌日午前二時までに取扱つた郵便物は二千二百万通であつたが、今年は二千万通と見込まれ、昨年に比べ二百万通の減少である、これは不景気の影響で中止する者が意外に多く、且つ各官庁では二十日の午前中に受付けた郵便物は二十四日まで受付けた取扱ひから二十四日着で配達することにしたからである、尚ほ今年は

肌を若返らせる唯一の方法

今こそお肌のお手入れ時！

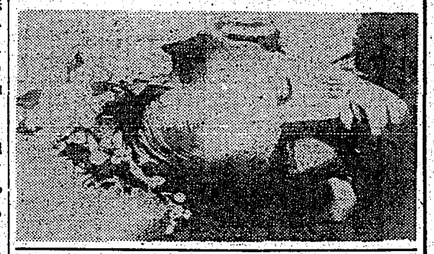
お正月もそろそろ今こそお肌にとっても肌の出来る時です。もしも貴女のお肌がカサカサに荒れて居るやうな場合であつたら、折角の新春が訪れても、自由使ふ、明るさも貴女のものから遠ざかつてしまひませう。素敵な肌は今から……それには



「敷島」一本の肺臓煙は

五四瓦の瀉血に等し

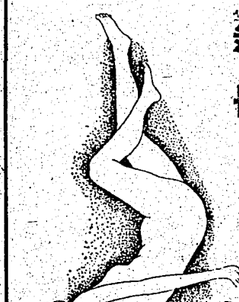
（平）一酸化炭素一％の空気を一分間吸へばこの世にお別れ

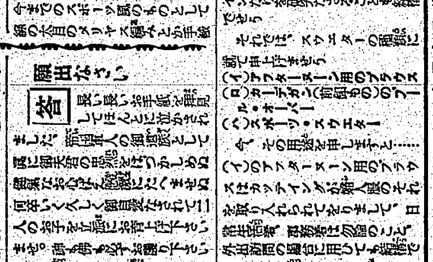


婦人病

家庭の憂鬱期

子故に忍ぶ母の治療法





国定忠次

（141）

長谷川伸作
吉田貞太郎画

家庭娯楽遊戯

一、正月などによい（一）

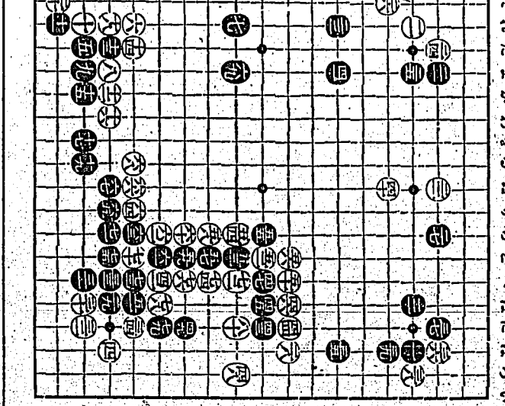
新しい遊びかた

あけましておめでとうございます。

有段者十人抜碁戦

（第二回）

阪田三吉
木村義雄（十段）



「北支描へ」

（三）

夕刊經濟欄

書棚の柱石

今年は大豊作

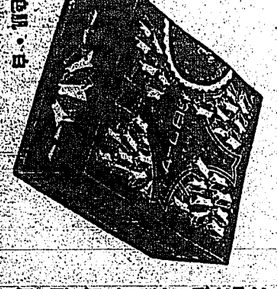
下痢腹痛の

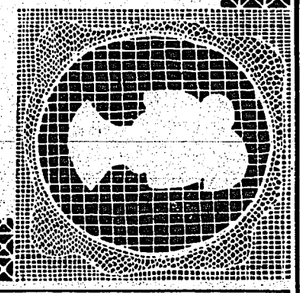
胃腸に

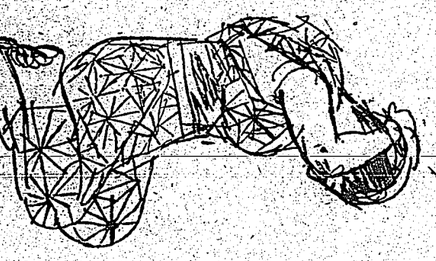
肩こりに

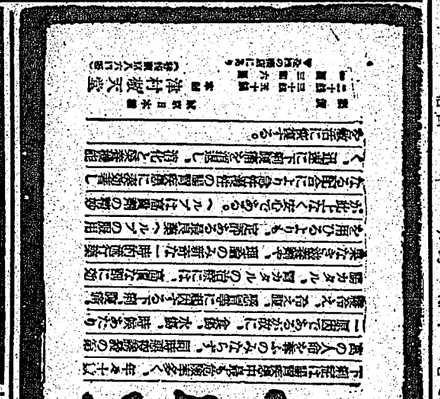
頭痛に

すゝめ国民貯蓄









（昭和十二年五月九日第三種郵便物認可）（朝鮮郵便）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）（每二回）

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

每日發行所 臺灣新報社 臺北市榮町一丁目 電話代表 三一〇五番 編輯局 三一〇六番 印刷工場 三一〇七番

定價 本島一部六錢一ヶ月前金參圓五拾錢 三ヶ月前金八圓四拾錢 大小月同 也（日本國內及滿洲國內各地一ヶ年前金拾八圓 半年前金九圓 三ヶ月前金四圓五拾錢）

廣告料 特別欄一行十五字 一回金壹圓 一行增加金貳拾錢 普通欄一行十五字 一回金拾錢 一行增加金五錢 廣告用紙一〇號（菊判）一枚金參錢 同半枚金貳錢 廣告用紙一〇號（菊判）一枚金參錢 同半枚金貳錢 廣告用紙二〇號（菊判）一枚金五錢 同半枚金參

臺灣を中心とした 各種の財界回顧

重要役割 臺灣

檜の間伐材が 立派にパルプ化

東大農學部で完成す

企業化して來た 我國養鶏業の現勢

産卵總價額は年一億圓を突破 多産鶏でも世界新記録を保持

生保會社が 運用率引下

農會は産組よりも 富農的色彩が濃い

紛糾の電力案

本年肥料輸入 既に一億圓突破

◇正月用の蜜柑

海外經濟電報

因大阪商船廣告

文藝

飜譯くらべ

バイロンの煙草の詩を例に

P・Q・R

火鉢や行火を抱へての、冬の夜の語り草にもとかうした閨秀の頃んでみた。

閨秀人の書いたものを、飜譯して、その大体だけでも出來ようとする仕事は、なかなかむづかしい仕事である。有名な飜譯が澤山出版されたことがある、これも飜譯して「月に大砲を與へよ」としたら、何のことやら一向に訳がわからなくなる。

×　×

偉大詩人バイロンの詩の中から一篇飜譯をして見よう、幸に、煙にも異味のあるタバコ讃歌の句上飜譯文にバイロン飜譯タバコ讃歌……詩は十六世紀に英國が新大陸の植民地アージャ（婦人を欲つ時の意味）と煙草を本國に引上げたとは、正に人身賣買、それにしても何と魅惑的いい讃歌ではないか

Sublime tobacco! which from east to West
Cheers the sa'r's labour or the Turkman's rest;
Which on the Moslem's ottoman divides
His hours, and rivals opium and his brides:
Magnificent in Stamboul, but less grand,
Though not less loved, in Wapping, or the Strand:
Divine in hookas, glorious in a pipe,
When sipp'd with amber, mellow, rich, and ripe;
Like other charmers, wooing the caress,
More dazzlingly when daring in full dress;
Yet thy true lovers more admire by far
Thy naked beauties—Give me a cigar!

LORD BYRON, *The Island*

Sublime tobacco! which from east to West
Cheers the sa'r's labour or the Turkman's rest;
Which on the Moslem's ottoman divides
His hours, and rivals opium and his brides:
Magnificent in Stamboul, but less grand,
Though not less loved, in Wapping, or the Strand:
Divine in hookas, glorious in a pipe,
When sipp'd with amber, mellow, rich, and ripe;
Like other charmers, wooing the caress,
More dazzlingly when daring in full dress;
Yet thy true lovers more admire by far
Thy naked beauties—Give me a cigar!

LORD BYRON, *The Island*

崇高なるかな、煙草、東より西まで
下は水夫の勞苦より、上は國賓國の帝王に至るまで
その慰安に於ては比類なく
その賞美する點に於ては更に劣ることなし
スタンブールに於ては比類なるとに
スタンドのウオッピングに於ても
その妖艶に於ては劣るところあり
その愛玩する點に於ては更に劣ることなし

×　×

それから、小説家濱野修　氏がこれもやはり昭和八年度飜譯したが、それは……

×　×

おゝ此のタバコー東の西ゆ
水夫を慰しまし、トルコ人の休息を樂しまし
モスラムの長き斷食の上
樂しひと時を與へらては、オピウム
にも劣らぬ
スタンブールの醍醐は知られ
イギリス人の愛すまさらん
水夫をゆるのよさ、パイプの愛で
たさ
醉ひて眠しなば、和きて醒か
に覺むる
愛撫を欲しは魅力ある物の常
か
さらさら勿れ、煙草の故が妻
されど美貌の愛のいや眼ふるは
故が綿身の美しさなれ——與へ
よ與にシガアをこそ！

×　×

かうして並べて見ると、何れもその人各人の個性がその飜譯の上に現はれてゐて頭白い、これはその一例に過ぎないが、多くの人を以て飜譯されたものを、數學と山積べて見ると、そこに、學ぶきが少なからず見出されるであらう。

雜誌紹介

▲新潮（新潮社）　岡田三郎、深田久彌、伊藤整、村山知義、舟田謹治、横光利一、阿部知二、川端康成、堀辰雄、井伏鱒二、尾崎一雄、阿部知二、徳永直、新居格、小林秀雄、中村武羅夫、楠山正雄、正宗白鳥、宇野浩二、瀧井孝作、久保田万太郎、岸田國士、豊島與志雄、舟橋聖一、龍胆寺雄、外村繁、中河與一